

イサハヤ小信号トランジスタ、ダイオードは、厳重な品質管理のもとに設計、製造され、十分ご満足いただける性能と品質を有しています。しかし、ご使用の際、素子に不適切な機械的ストレスが加わりますと、素子の特性や品質を著しく劣化させるおそれがあります。素子の性能を100%引き出し、かつ十分ご満足いただける信頼性を実現するために、リード成形時のご注意いただきたい事項について記述します。

リード成形上の注意

機器の部品配置上の都合により、リードの成形をされる場合は、次の点にご注意下さい。

<TO-92S外装品>

- (1) 電極リードへのストレスが加わらないような専用治具をご用意いただくか、あるいは先の細長いラジオペンチ2本を用意し、1本のラジオペンチでリード上の折り曲げ点とトランジスタ本体との間のリード部分をはさみ、もう1本のラジオペンチで、残りのリードをはさんで折り曲げて下さい。
- (2) リードを横方向に曲げるときは、図1のようにリードの細い部分か、又はトランジスタ本体から少なくとも4mm以上離れた点で折り曲げ、その角度は 30° 以下にして下さい。
- (3) リードをトランジスタ形名表示面に対し垂直に曲げるときは、図2のようにケースから少なくとも4mm以上離れた点で折り曲げ、その角度は 90° 以下にして下さい。

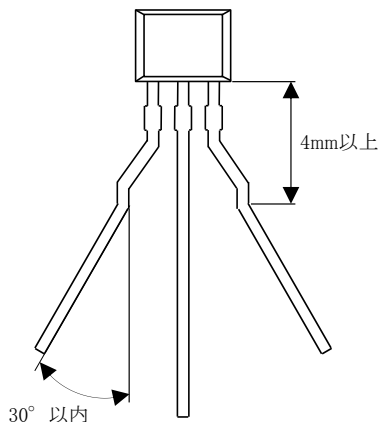


図1. リードを横方向に曲げる場合

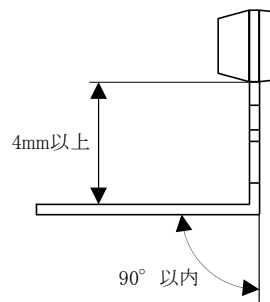


図2. リードを垂直方向に曲げる場合